

# おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな  
・アルプス訪問看護ステーション

2018

9

第32巻9号  
(通巻373号)



木曾駒ヶ岳（2956m）は木曾谷と伊那谷に挟まれた中央アルプスの盟主である。標高2650mの千畳敷カールまでは、ロープウェイで簡単に上がることができるので、天上の別世界の雰囲気を手軽に味わうことができる。写真は9月中旬、千畳敷カールの下部にある剣ヶ池から撮ったもの。千畳敷カールは今から約2万年ほど前の氷河期に氷河の浸食によってできたカールで、畳を1000畳分広げたくらい広いという意味で名付けられた。正面のとがった山が宝剣岳（2931m）。木曾駒ヶ岳はその右の鞍部（乗越浄土）を超えたところにある。ナナカマドの実が赤く熟れ、葉がいち早く紅葉し始めている。宝剣岳の白い岩肌、ハイマツの緑、抜けるような青空のコントラストが美しい。



峡西病院の理念

「その人らしさ100%」

峡西病院の方針

1  
説明と納得の  
医療

2  
多職種の連携

3  
「ここちよさ」の追求

4  
社会参加の推進

第43回

日本精神科看護学術集会

in愛知

6月15日から17日の3日間、名古屋市で日本精神科看護協会の学術集会が開催され、リスタート病棟の秋山あけみ看護師が山梨県支部からの推薦演題として看護研究を発表しました。秋山さんに感想を聞きました。「知的障害を持ち解離性・転換性症状がある患者との関わり〜患者・看護師関係において感情表出がみられた言動に焦点を当てて〜」という演題で発表しました。

私の前の人は北海道、後の人は沖縄でした。発表前に会場から質問がないときは、座長が何を質問するか打ち合わせして臨みました。質問はそれだけで十分。ないほうがいいなあ、あんまり聴きに來なさいいいなあと思っていました。でも発表が始まると会場は黒山の人だかり。フロアから質問されたのがすごうれしかった。みんな抄録を見て興味を



持って来てくれてくれたんだと思うと、苦労が報われた瞬間でした。

お昼のお弁当もすごくおいしかったですし、名古屋コーチン鍋、ひつまぶし、めっちゃ食べまくりました。「発表は研究をがんばった人へのごほうび」と言うのが分かりました。全国大会にまた行きたいと思いました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

発表の助手としてパワーポイントの操作を行ったアスピル病棟の山本美鈴さんは、全国大会はいろんな視点の演題があつて勉強になりました。いい機会をいただきました。ひつまぶしをはじめて食べました。おいしかった。と感想を述べていました。

+ クレド 棟 勉強会 第2回 おむつの当て方・選び方②

7月号で紹介するお約束をした、「おむつの当て方・選び方」の勉強会の続きを書きます。7月号では注意点(2)まで紹介しました。今月号では、続きの注意点(3)小さなパッドを頻回に交換する。(4)夜中におむつ交換をする。(5)おむつを引っ張って位置を修正する。以上3点について説明致します。

(3)(4)夜間におむつ交換を行っていませんか？

夜間のおむつ交換は、使用者様の眠りを妨げます。特に高齢者は、眠りが浅く、「夜中何度も目が覚める」「朝早く目が覚めてそのまま眠れない」という悩みが多いもの。夜中におむつ交換をしなくても済むよう、夜間の排尿量に対応できる吸収量のおむつを選び正しく使うようにしましょう。

最後に(5)おむつを引っ張らない。おむつの位置は寝返りなどでもうしてもずれてしまいます。それを直そうとして無理に引っ張っていませんか？摩擦などで褥瘡を起こす原因になります。おむつの位置を直すときは、体位交換を行いますよ。

おむつ交換は介護する人、介護される人の両方に、身体も気持ちも思いのほか負担がかかります。でも、交換の際のポイントを押さえておくことで、身体の負担を大幅に減らし、スムーズに手早くできるようにします。

7月号・9月号と2回にわたり私におむつ使用に何かひとつでも参考にしていただけたら幸いです。

尿と便も 身から出れば

我が子なり

クロ



平成29年度 目標管理発表会



◇ 最優秀賞 ◇

リスタートグループ 佐藤喜久美
作業療法グループ 齋藤 隆広

設定目標
BPPSDサマリーを作成し、
退院先施設へ情報提供する

認知症患者様の周辺症状(BPPSD)の対応について多職種で意見交換を行いサマリーを作成し、その人に合った対応方法・関わり方を退院先施設へ提供していくことを目標としました。

当院での対応方法をわかりやすく伝えることで、病院と施設での対応の差をなくすことができれば、患者様の安心した生活が退院先で継続できると考えました。

※BPPSDとは：アルツハイマー病を中心とする認知症は中核症

状(記憶障害、遂行機能障害など)が全般的に出現します。それに対して、物取られ妄想や不安、抑うつなどの心理症状と、徘徊や介護への抵抗などの行動障害を合わせてBPPSD(周辺症状)といえます。

目標設定の背景

リスタート病棟当院の認知症治療病棟)の退院患者様のなかには施設へ退院しても環境の変化や対応の違いによって対応困難となり3か月以内に再入院となる患者様がいます。BPPSD(周辺症状)は基本的に、環境によって出現すると言われてい

方法

資料収集と情報収集

参考書等を用いて一般的なBPPSDの対応方法を再確認し、当院の入院理由に多いBPPSDを調査しました。

BPPSDサマリーの書式の作成や内容の検討

同じBPPSDでも患者様によって原因や頻度、症状は違いため、その

人に合った対応方法を記載できるように工夫しました(左下図)。

実行

退院日時が決定した患者様の担当スタッフに依頼し、随時BPPSDサマリーを作成するように促しました。BPPSDサマリーを退院先施設に渡した後、2か月ほど期間を置き、アンケートを送り、当院で行っていた対応方法の必要性・有効性等を評価して頂きました。

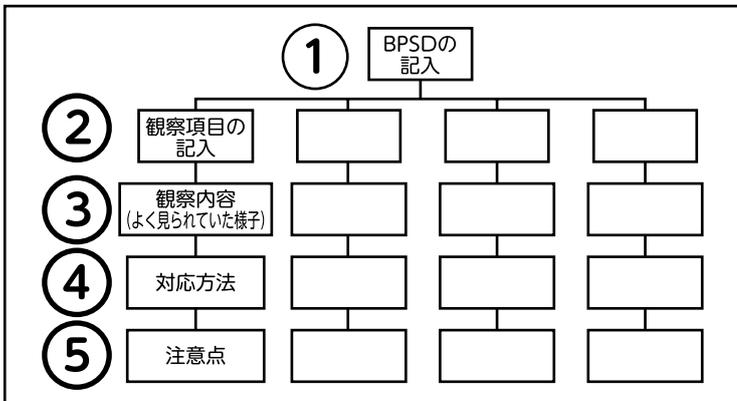
結果

個別性を持ったBPPSDサマリーを作成し、退院先施設へBPPSDサマリーを提供することができるようになりました。

またアンケートからは「とてもわかりやすかった」「今後もよろしくお願います」「初めて関わる入所者様でもBPPSDサマリーを元に対応に苦慮することなく関わることができました」「今後も継続して行っていただけとありがたいです」「ケアプランの暫定プラン作成に組み込むことができる内容でした」等の意見をいただき、必要性・有効性を検証することができました。

今後の課題

職員から、書式や内容を文章化することの難しさが挙げられました。今後は作成のしやすさを追求するため、多職種で意見交換をし



- ①対象者の問題となっているBPPSD
②そのBPPSDに対する観察項目
③日ごろよく見られていた様子
④当院現場スタッフが統一して行っている対応方法
⑤注意点や対応時にやってはいけないこと

来年度に向けて

今までは退院先施設から面接調査を受けるのみでした。現在は再入院を防ぐことと、病院と施設との違いを知ることを目的に、当院職員が施設見学を実施しています。退院のタイミングは患者様によって違うため、一番良い状態で退院出来るように明確な基準を作り、患者様の安心した生活に繋げていきたいです。

ていく必要があると考えました。また当院職員も、病院と退院先施設との環境の違いを知り、その情報を踏まえた上で患者様の行動パターンを考察しサマリーを作成する必要もあります。そこで、今後は施設見学を行う必要があると考えました。



## カラオケ大会



8月4日(土)に予定していた夏祭り夜の部は、連日の猛暑のため急遽中止となり、室内で行なう昼の部のみを行ないました。午前の部はカラオケ大会、午後の部は老健2階とOTホールにて行われました。

## よさこい舞羽



午前の部ではカラオケ大会が開かれました。事前に申し込みをされた方たちは練習を積み重ね、当日は今までにない歌声で、みなさんの前で堂々と披露することが出来ました。その歌声を聴いてか、何人かの人達が飛び入り参加を希望し、今まで皆さんの前でカラオケを歌った事のない方も出場してくれました。『夏祭りテーマ』『夏祭りポスター』の表彰式も行なっていました。

老人保健センターの2Fでは、夜の部出演予定でした『よさこい舞羽』さんが急遽昼の部に変更して出演してくださいました。予定していた時間を延長したため、3部構成で子供チームと大人チームが交代で迫力ある演舞を披露してくださいました。入所者の皆様はフルーツポンチとフルーツゼリーを食べながら踊りを楽しみました。一緒に踊ったり、鳴子を借りて振ったりして、拍手をしながら「かわいい」「上手だね!」の言葉が聞かれました。舞羽さん本当に有難うございました。

## 早乙女大正琴



OTホールでは、午後の部は、予定通り早乙女先生の大正琴演奏会を開催しました。「武田節」や「星のフラメンコ」など拍手で会場の皆様も参加して楽しみました。アンコールでは河内おとこ節と、私たちが希望した武田節をもう一度演奏してくださいました。

夜の部を楽しみにして下さっていた方には大変申し訳ありませんでした。秋祭りとして、10月20日(土)午後からに延期となりましたのでご理解の程よろしくお願いたします。

# ろうけん Times ★

猛暑のため夏祭りが秋祭りに延期になってしまいました。そのため日中に「よさこい舞羽」様がやってきてくれました。子ども達も踊っていたのでとても盛り上がりました。夏祭り用に作ったフルーツポンチはとてもおいしく頂きました。



今回は夏祭りの延期にともない、掲載を予定していた写真が撮れなかったため、利用者の日常風景としてアニマルセラピーの様子を紹介します。



## 入院費軽減のコツについて

今回は、入院費軽減方法について、精神保健福祉士の櫻井さんにお聞きしました。

### Q. 入院したら支払いが心配・・・どうしたら良いのでしょうか？

入院をする時に費用の心配はつきものですね。

そういった時には「**限度額適用認定証**」というカードの利用をおすすめしています。

入院費の内訳は主に「医療費（治療・薬にかかるお金）」「食事代」「部屋代」「保険外費用（洗濯代行費用・病衣料・おむつ代など実費のもの）」です。この中で1番高額になるのが「医療費」です。入院が決まったら早めに「**限度額適用認定証**」を取得し、病院に提示してください。そうすると、入院費の中の「医療費」の支払い金額を抑えることができます。世帯の収入や年齢に見合った金額が設定され、それ以上にかかった分は支払わずに済みます。

当院では、入院が決まった方には事務スタッフが入院費や限度額適用認定証について説明をさせていただきます。持っている保険証の種類によって限度額適用認定証の申請をする窓口が異なりますので、事務スタッフの説明に沿って手続きをおこなってください。

そのほか、高く支払った医療費を後から返してもらうという方法もあります（**高額療養費制度**）ので、領収書は捨てずに取っておくと良いと思います。

制度の名前や内容が難しくわかりにくいですね…。困った時は精神保健福祉士（ソーシャルワーカー）にもご相談ください。「限度額適用認定証」や「高額療養費制度」以外にも提案できる方法があるかもしれません。

安心して入院治療ができるよう、一緒に考えていきましょう。

## デイケア Channel チャンネル

### 今月の デイケア活動紹介



《プログラム名》  
ボランティア

《活動日》  
木曜日（月1回）

《活動内容》

院外周辺のごみ拾いや、市内にある花だんの手入れを行っています。花だんの手入れは、今年の4月に始めた新しい活動です。メンバー全員で緑のバندوقナを着用し、「グリーンフレンドズ隊」として活動しています。

《問い合わせ》

興味がある方や、参加をご希望の方は、お近くのデイケアスタッフまでお知らせください。



## 患者の権利と義務

あなたには、「その人らしさ100%」の理念の下、闘病の主体者として、以下の権利と義務があります。

1. 必要かつ十分な医療サービスをあなたにふさわしいやり方で受ける権利
2. 闘病の主体者として、医療者と協力して治療に参加する義務
3. 病名・病状・予後・診療計画・薬の名前や副作用などについて説明を受ける権利
4. 個人の秘密が守られる権利と、私的なことに干渉されない権利
5. 患者としての行動に適用される病院の規定・規則を知る権利とそれを守る義務
6. 医療費等の請求を点検し、説明を受ける権利と、それを期限までに支払う義務
7. 他の患者や病院職員の医療提供に支障を与えないよう配慮する責任
8. 治療上必要最小限の行動制限を受けることがあるが、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に定められた面会・通信の自由・退院請求の権利及び治療・対応に対する不服申し立てをする権利

### 私の好きなことやりましたこと

子どもの頃から読書が大好きで、小説やエッセイ、コミックまでたくさんの本に囲まれていました。今も本屋にはよく立ち寄りします。決してインドア派でもなくソフトボールやバドミントンのおかげでやけに右肩が強いですし、義父の姿を見て弓道もやってみました。娘と一緒にピアノを習いビートルズが弾けるようになりしました。そして子育てが楽になった頃に、教習所に通い250ccのバイクに乗りました。私と夫と近所の大学生という親子みたいな三人でツーリングに行き、目的地でコーヒーを楽しみました。あ

### 私の趣味

これ興味をもつ私に、家族は反対せずむしに楽しんでくれて感謝しています。目は疲れやすく「いつか読む本」が増え体力も落ちましたが、私にはまだやってみたい事があります。家族みんなでライブに行き、ギターや名前の分からない楽器に歌い出すような、音楽好きの家族です。そのために覚えたい楽器も二つあります。できない事を数えるより興味を持って楽しんでいきたいとも思っています。そんな私のイチバンが、秋の東京ドームでのライブ。この号が出るころにはきつと彼らから力をもらっているはずです。

外来 竹村 香織

# 万華鏡

前回のこのコーナーの原稿依頼は3年8か月ほど前。その時に「夢をかなえるゾウ」(水野敬也)という本を話題にした。今回はその続き。

私が所属するデイケアには「ドリームプロジェクト」というプログラムがある。自分の夢、誰かの夢を叶えるため、準備や計画を行う活動である。医療機関のリハビリの場において、個人の夢の実現をどこまでお手伝いするかという議論はさておき、少なくともこの活動は私に大きな勇気と生きるエネルギーを与え続けている。

このプログラムは、夢が近づいていくことも教えてくれた。参加者のひとりにはウェディングドレスを着たいと語った。入院中に一度体験していたが、デイケアでは貸衣装屋でドレスアップして庭園での記念撮影プランに挑戦した。この夢実現を見届けた別の女性はドレスを着て口ケーション撮影をすることが夢と語り、実現した。ある男性は馬に乗ることが夢だったと話した。これも叶った。この夢を応援した仲間も一緒に初体験の乗馬に感激した。ある人の夢はある人の夢の語りを誘う。話すことが踏み出す勇気と叶える力につながる。

なかには、他の人のために何かしたいと語る方もいる。ある女性は夏祭りにお笑い芸人を呼んでみんなを笑顔にしたいと言った。プログラム担当者は「よしもとクリエイティブ

エージェンシー」に問い合わせた。関係機関に連絡することはあっても芸能事務所に電話するのはこの時が初めてだった。予算は限られている。その女性は手紙も書いた。そして夢は叶った。夏祭り当日、多くの笑顔に出会うことができた。夢の実現者は、安堵感と達成感に包まれた。

夢を見つけないことがまだ難しい環境や状況にある人もいる。また、夢と聞かれてもすぐに答えられない人もいる。私もその一人だ。それでも、近くに夢を叶える人がいると「もしかして自分にも…」そんな気持ちにもなる。

一つの希望を語ることから始まる夢がある。自分らしく生きるためのサポーターがここにもいる。

デイケア 工藤 伸治

### 「さくら」編集室

今年猛暑の影響で夏祭りが延期になってしまいました。楽しみにしていた方も多いと思います。が、また秋祭りを楽しみにこの暑さを乗り越えていきましょう。

8月になって、いろいろなところから花火の音がたくさん聞こえてきます。最近花火の形や種類も増えてきて、先日行われた市川の花火大会でもビールの形をした打ち上げ花火が峡西病院から見えました。花火でプロポーズする人もいるそうです。断られたらしばらく立ち直れませんか。

そもそも花火の始まりは中国のろしだそう。ではなぜ花火大会は夏に開かれるのか? 送り盆の時期に魂の鎮魂のために打ち上げられたことからだそう。今年の夏もそろそろ終盤にさしかかってきました。ご先祖様に思いをはせながら残り少ない打ち上げ花火を鑑賞するのもいいかもしれません。

(た)



今月の予定 9月

- 3日 労働衛生委員会
- 7日 レク行事委員会
- 13日 防災委員会
- 14日 教育委員会
- 19日 広報委員会

南山会 秋祭り

10月20日(土) 午後  
開催予定

※8月4日(土)の南山会「夏祭り」は、猛暑のため縮小して行いました。当日行えなかった夜の部(屋外の企画)を、南山会「秋祭り」として10月20日土曜日午後に開催します。

今月の一枚



今年の夏は本当に暑かった(9月もまだ暑い?)ですね! みなさんは「平成最後の夏」の思い出をつくれたでしょうか?

おあしす 広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

この病い 幾度乗り越え 秋蟬の声 石川 理

かき氷 おいしく口に 入れにけり 今福 和人

けんかの日 その日のことを 書き止めし

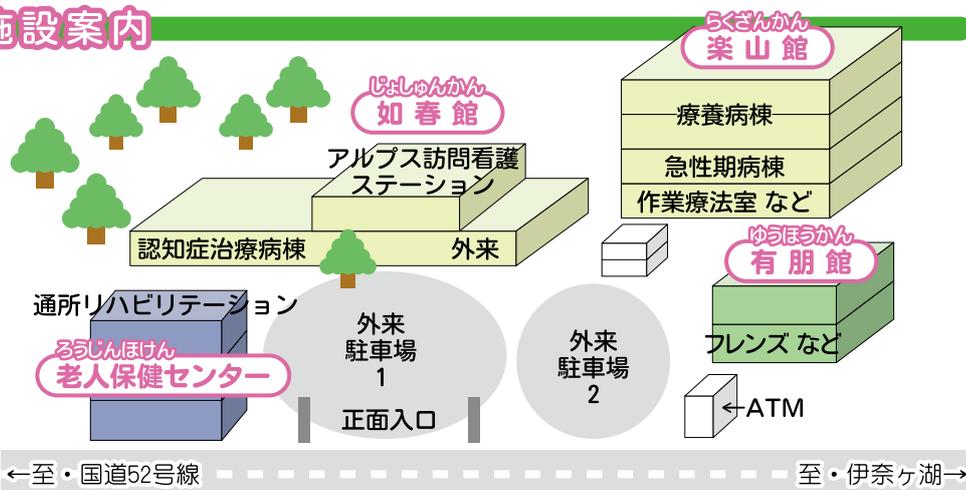
明日顔合わす 成るようになれ

大森真知子

遮断機に足止めされし猛暑かな 塚原 光明

※掲載は五十音順です。

施設案内



交通案内

- JR中央線 甲府駅より車で40分
- JR身延線 東花輪駅より車で15分
- 中央高速 甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道 南アルプスICより車で5分
- 山交バス 甲府-南アルプス市甲西支所行き(十五所経由) 鵜沢営業所行き(西野経由) 鵜沢営業所行き 小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第373号 1987/9/5創刊

発行所

〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421  
TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886  
URL <http://www.nan-zan.or.jp>

特定医療法人 南山会

\* 広報委員会 \*

若杉 雄司、齋藤 由布、坂本 幸廣、近藤 忠彦  
佐藤和加子、高根 綾、櫻井 千恵、山本 美鈴

次回374号も  
お楽しみに!